

# いま農政を転換する時：橋爪 福田首相発言などで市長見解求める

6月議会の一般質問が19日から4日間行われました。私は今回、妊婦健診、農業振興、労働行政をテーマに質問を展開しました。「生産調整は抜本的な見直しが必要」（町村官房長官）など政府高官の注目の発言について市長は、国に向いた際に、担当課長などに市長の思いを伝えていくと答えました。以下は農業関係の質問の一部です。

「食料自給率は5、60%にしなればいけない」との考えを示したと報道されている。また、福田首相も今月3日、「食料自給率を向上させなければならぬ」と発言したと報じられている。

食糧・農業・農村基本条例を持つ自治体のトップとして、町村官房長官や福田首相の発言についてどう思うか明らかにしていただきたい。

【橋爪】世界の食糧情勢は一言で言えば食糧危機だ。日本農業新聞では、「アジア米騒動」とか「食料有事」などという言葉が登場する事態になっている。1日に1食しか食べられない子どもがいる状態が国全体に広がっている国も出てきている。こうしたなか、町村官房長官が先月31日、「コメ生産調整を抜本的に見直すべきだ」

【木浦市長】「上越市食料・農業・農村基本条例、及び基本計画」の中で、地域内での農産物の生産拡大と、それに伴う自給率の目標を掲げ、食料生産基地としての位置づけを明確にして地域農業の振興に努めている当市としては、食料自給率の向上と生産調整については、非常に大きな問題として受け止めている。

減反政策については、年々米の消費量が減少する中、主食用米の需給バランスと生産者米価が維持できるよう、生産調整の主体である生産者団体と行政がしっかり連携し、堅持される必要がある。短期的に廃止論を展開することは、単に大きな混乱を招くだけだ。生産調整に関しては、まじめな産地が適正に評価され、農業所得に反映されるようにすることが、喫緊の課題であると認識している。



## 吉川方面隊が消防演習

上越市消防団吉川方面隊の演習が22日、吉川中学校で行われました。演習は合併後4回目。かけつけ放水、小型ポンプ操法（写真）、規律訓練など訓練項目は多くはありません。たびたび発生する地震や水害などでの頑張りが求められているだけに、こうした訓練は大事です。

私は昨年、中越沖地震とその後の行方不明者の捜索で消防団の人たちと一緒に活動しました。地域防災の最前線で若い人たちが頑張ってくれているから、地域住民は安心して暮らすことができます。

そのうえで、食料自給率の向上に結びつけるためには、農林水産業への理解を深め、消費者意識の改善を促す食育の普及・推進と合わせて、国内農業生産の拡大につながる農政改革を実施すべきであると考えている。

【橋爪】「生産調整の見直し」「食料自給率の向上」については私も賛成だ。しかし、いまの現状をもたらした責任はどうなっているか、それにふれない発言は無責任だ。生産調整の見直しをするなら米価を下落させない手立て、政策も一緒になければならぬ。

## 直江津図書館問題で論戦の基調を定める質疑展開

私は24日、今議会で2回目の総括質疑を行いました。今回は直江津図書館・社会教育館整備事業についてです。

今回の整備事業は駅前ホテルの一部を市が4億5000万円で購入して整備するとあって、「ホテル救済ではないのか」などいろんな疑問の声があがっています。

私は、ホテルの建物を分割する登記がすでに行われていることなどの事実を示し、もつと情報公開し、透明性のある事業推進をすること、施行された自治基本条例に基づいて市民説明会をしっかりと行うこと、パブリックコメント（市民の意見公募制）の結果は全面的に公表して議会に臨むことなどを求めました。私の質問は54分、その後の論戦の基調となりました。

直江津図書館・社会教育館整備事業が盛られた補正予算は、文教経済常任委員会などの審査が終わり、継続審査ということになりました。来月の臨時議会で審査される見込みです。

